

平成30年5月11日

各 位

会社名 株式会社京三製作所  
代表者名 代表取締役 社長執行役員  
CEO・COO 戸子台 努  
(コード番号 6742 東証第一部)  
問合せ先 IR・広報部長 岩淵 好克  
(TEL 03-3214-8112)

### 中期経営計画に関するお知らせ

当社は、2018年度から2020年度までの3ヵ年の中期経営計画を策定いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

# 中期経営計画

【2019年3月期～2021年3月期】

2018年5月11日  
株式会社 京三製作所  
東証1部 証券コード  
(6742)

# 前中期事業計画のレビュー [2016年3月期～2018年3月期]



## 「Kyosan New Vision-100」に基づく基本方針

成長戦略の推進

事業構造改革

総合技術力の強化

マネジメントの変革

### 売上高

単位：百万円

セグメント	実績	目標
信号システム事業 (内 海外)	53,998 (6,687)	58,000 (10,000)
電気機器事業 (内 海外)	19,906 (13,491)	12,000 (6,000)
全 社 (内 海外)	73,905 (20,178)	70,000 (16,000)

### 営業利益

単位：百万円

	実績	目標
全 社 (営業利益率)	5,071 (6.9%)	3,500 (5.0%)

### ROE

	実績	目標
ROE	8.8%	5%以上

#### 実績

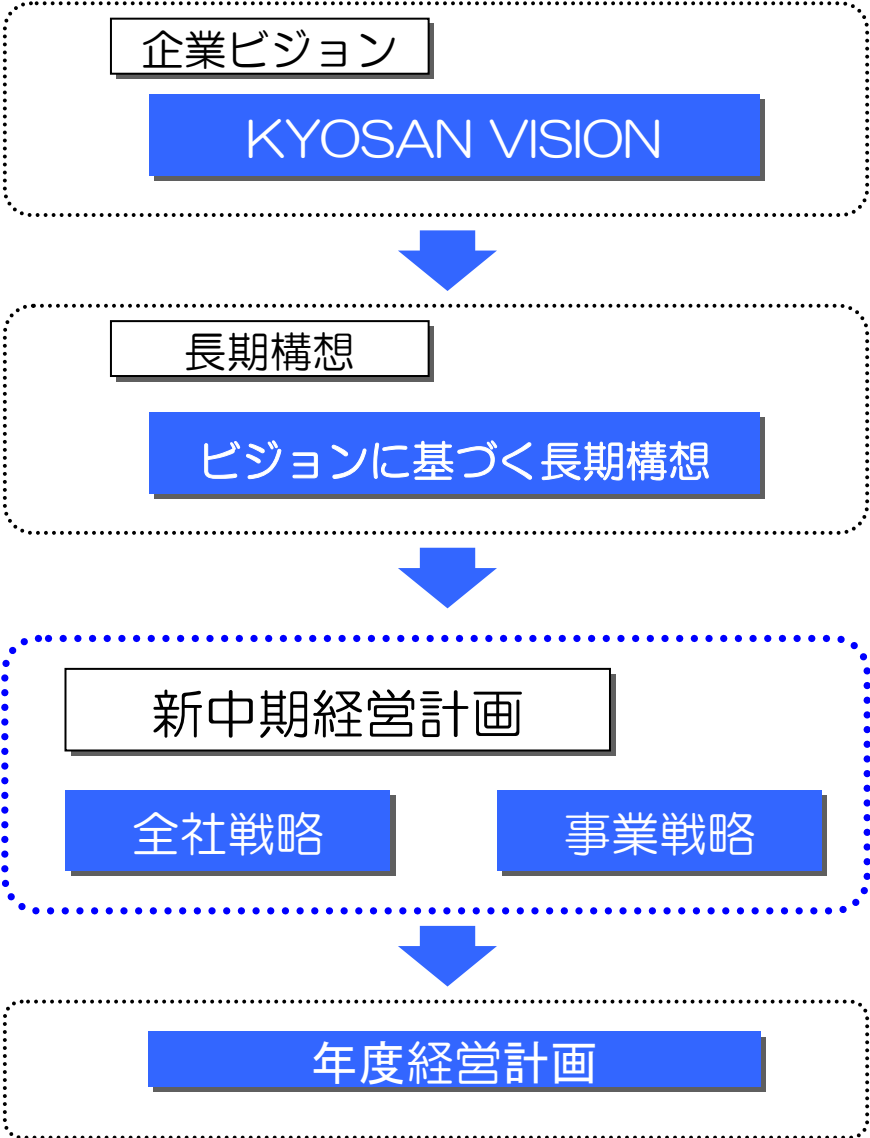
- ・売上高、営業利益、ROEともに目標を達成
- ・海外売上高も目標を達成
- 〔信号システム事業は大口案件が少なく未達  
電気機器事業は半導体、FPD関連市場の活況な設備投資を背景に目標を上回る〕
- ・インド・台湾子会社での現地生産の進展
- ・アメリカにおける無線式列車制御システム（CBTC）の納入
- ・産業機器用電源装置「第2世代製品」の拡販

#### 今後の取り組み

- ・グローバル企業への変革、競争力強化に向けた事業構造改革、コーポレートガバナンスの改革・高度化が不十分

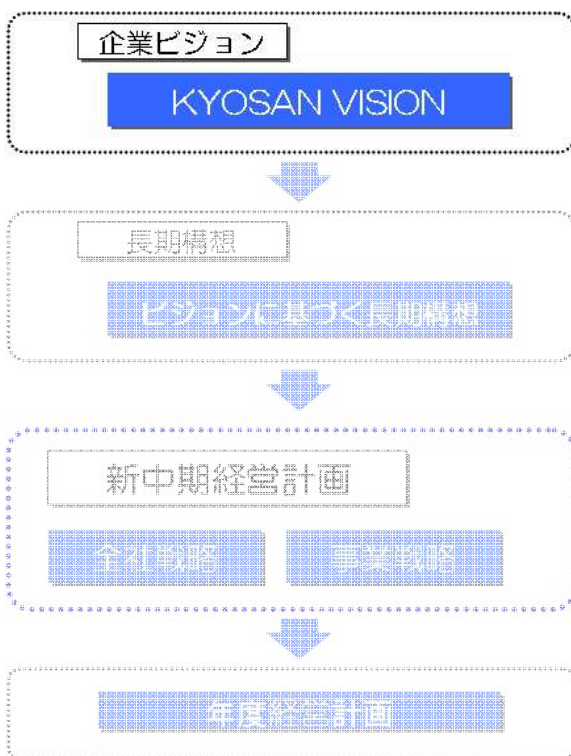
新中期経営計画の戦略課題として、  
さらに強化・推進

# ビジョン、長期構想、新中期経営計画の位置づけ



## Create for the Future

未来に向かって 安全・安心 を創造し続けます



### 企業理念

「安全性・信頼性」「地球環境保全」をキーワードに  
先進の技術と高い品質で「社会の発展と快適性向上」に貢献する

### 経営目的

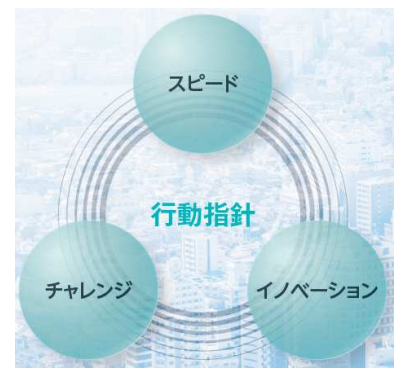
京三グループの 永続的成長	共に歩む人々の幸せ	ステークホルダーへの 適切なリターン
------------------	-----------	-----------------------

### 企業ビジョン

めざす企業像

## 「信頼度ナンバーワン KYOSAN」

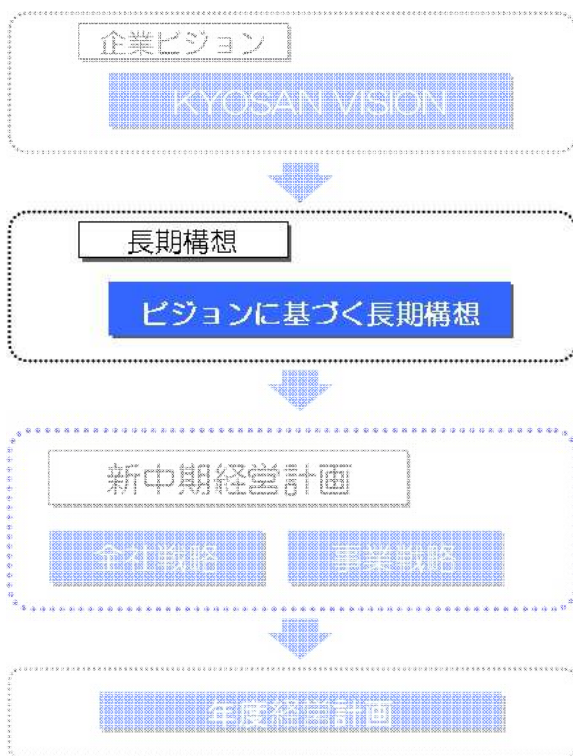
安全と安心を提供する リーディングカンパニー	すべての国の文化を 尊重するグローバル企業	充実した コーポレートガバナンス
---------------------------	--------------------------	---------------------



## ビジョンに基づく長期構想

### 長期構想における中核テーマ

- ◆安全と安心を提供するリーディングカンパニー
- ◆すべての国の文化を尊重するグローバル企業
- ◆充実したコーポレートガバナンス



# 新中期経営計画の位置づけと全体像

## 新中期経営計画の位置づけ

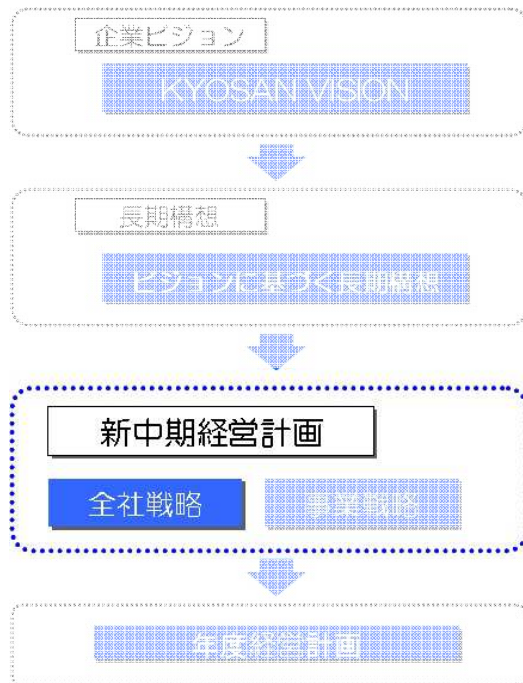
企業ビジョン、長期構想実現に向けた、次の3カ年における実行計画と位置づける



## 新中期経営計画の全体像

<b>全社 戦略</b>	最適な経営体制	<b>事業 戦略</b>	信号システム事業
	品質マネジメント・システムの推進 労働生産性の向上		<b>電気機器事業</b>
	社会に貢献する研究開発		
	人財力の最大発揮		

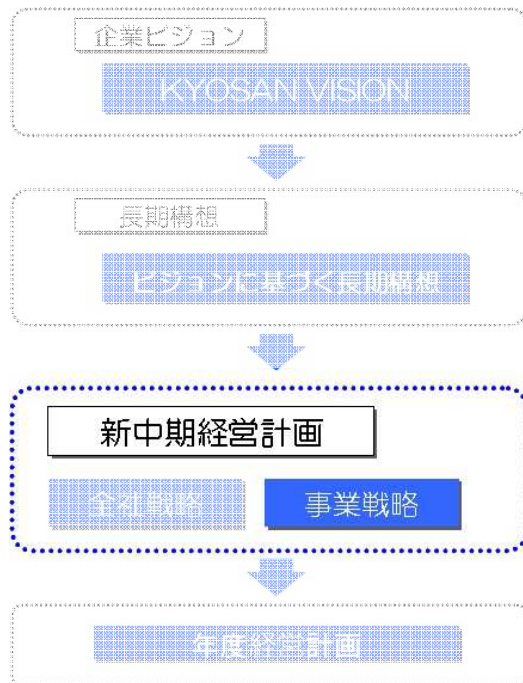
# 新中期経営計画—全社戦略



<p>最適な経営体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当社のビジネス展開に最も適したコーポレート体制（会社管理形態）を検証し、より合理的かつ自立的なグループ経営を推進する</li> <li>■ 当社に最も適したガバナンスにおける機関設計を検討し、その体制の下でリスク管理をはじめとするグループ内部統制を徹底することで公正性・適正性の高いグループ経営を推進する</li> </ul>
<p>品質マネジメント・システムの推進 労働生産性の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 品質マネジメント・システムの徹底により業務の有効性を高める</li> <li>■ 働き方改革に資する業務の整理・見直しによってグループ全体の業務効率および労働生産性向上を図る</li> </ul>
<p>社会に貢献する 研究開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ IoT、AI技術の活用・深度化により既存事業を進化・発展させるシステム・製品を提供することで顧客満足の上昇と社会への貢献を図る</li> <li>■ SDGs（Sustainable Development Goals）課題への積極的な取り組みを基に新領域および新分野開拓の足掛かりとする</li> </ul>
<p>人財力の最大発揮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ めざす企業像・長期構想を実現するための適正人財の確保・配置と労働生産性向上に資する人財育成の強化を図る</li> <li>■ ダイバーシティにも対応した人事関連諸制度、諸規程の見直しを図る</li> </ul>



# 新中期経営計画—事業戦略



## 信号システム事業

- 国内既存顧客・製品におけるシェア拡大
- IoT、AI技術活用による新製品開発と保全設備の拡充
- 海外拠点、協業会社、現地パートナー企業との協業による海外事業展開拡大

## 電気機器事業

- 顧客要求への対応力強化、製品ラインナップの充実によるシェア拡大
- 新機能・新アイテムによる高付加価値製品の開発
- 受注拡大に対応可能なグローバルな視点での生産・調達・品質保証体制確立

# 経営数値目標

(連結)	2018年3月期 実績	2019年3月期 見通し	2021年3月期 目標
受注高	839億円	790億円	900億円
売上高	739億円	800億円	900億円
営業利益	50億円	55億円	72億円
営業利益率	6.9%	7.0%	8.0%
R O E	8.8%	9.0%	10%

## 【セグメント別 売上高目標 (2021年3月期)】

信号システム事業

620億円



電気機器事業

280億円



研究開発費： 売上高の5%以上/每期

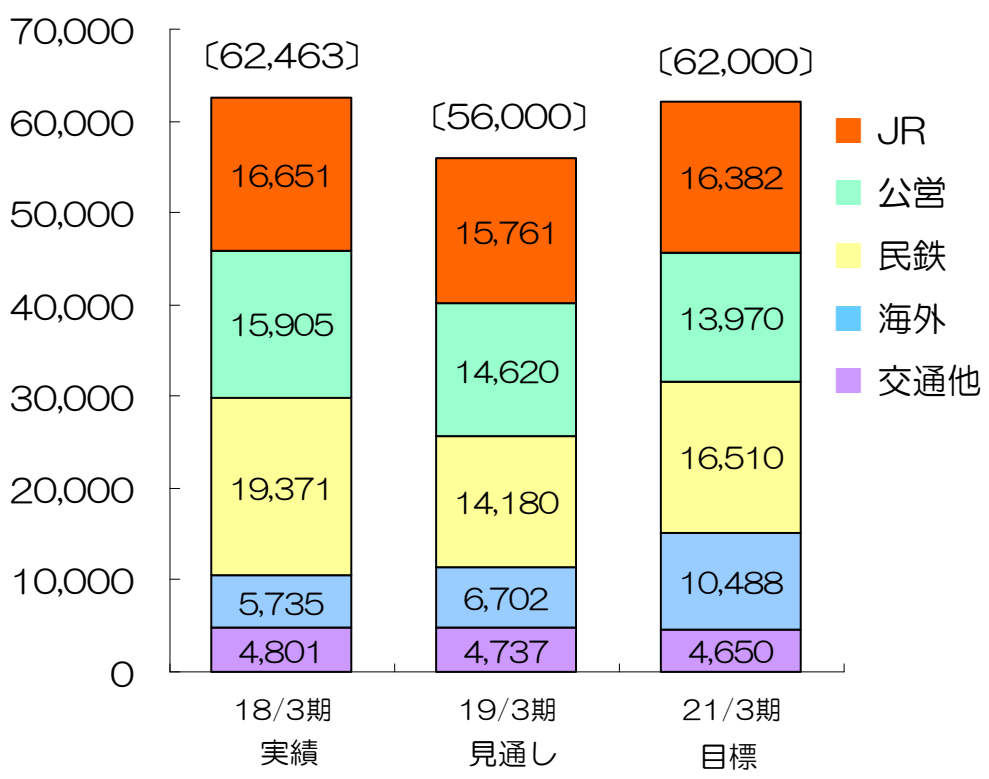
持続可能な社会に貢献する研究  
産学共同研究

既存事業をより進化させるシステム・製品開発  
研究開発体制の強化・整備

# 受注内訳

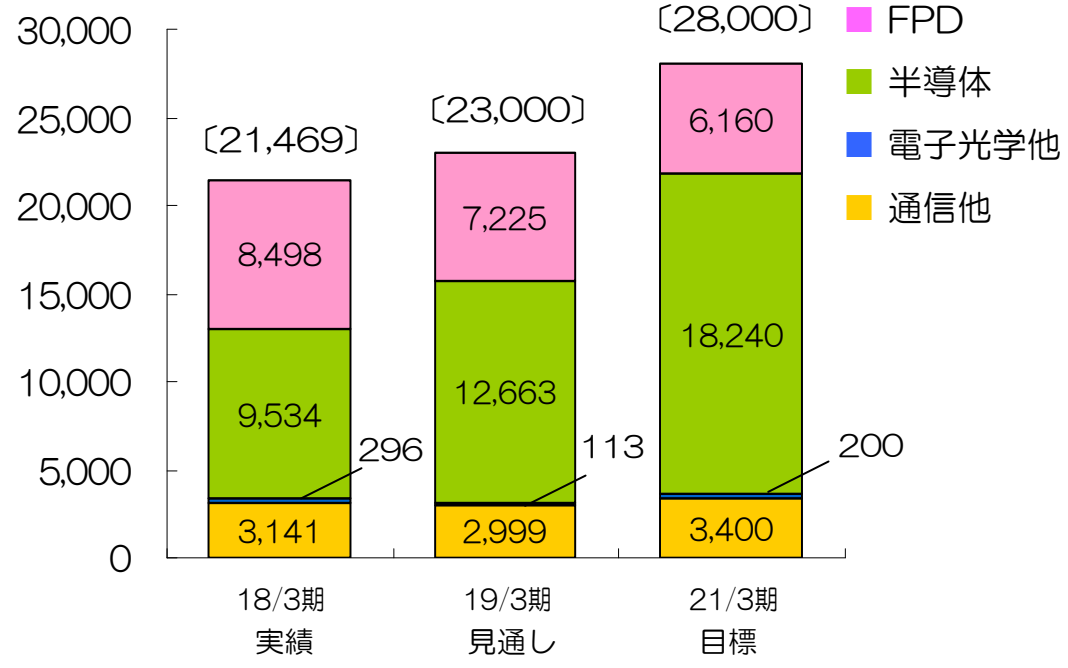
## 受注内訳

### 信号システム事業



単位：百万円

### 電気機器事業

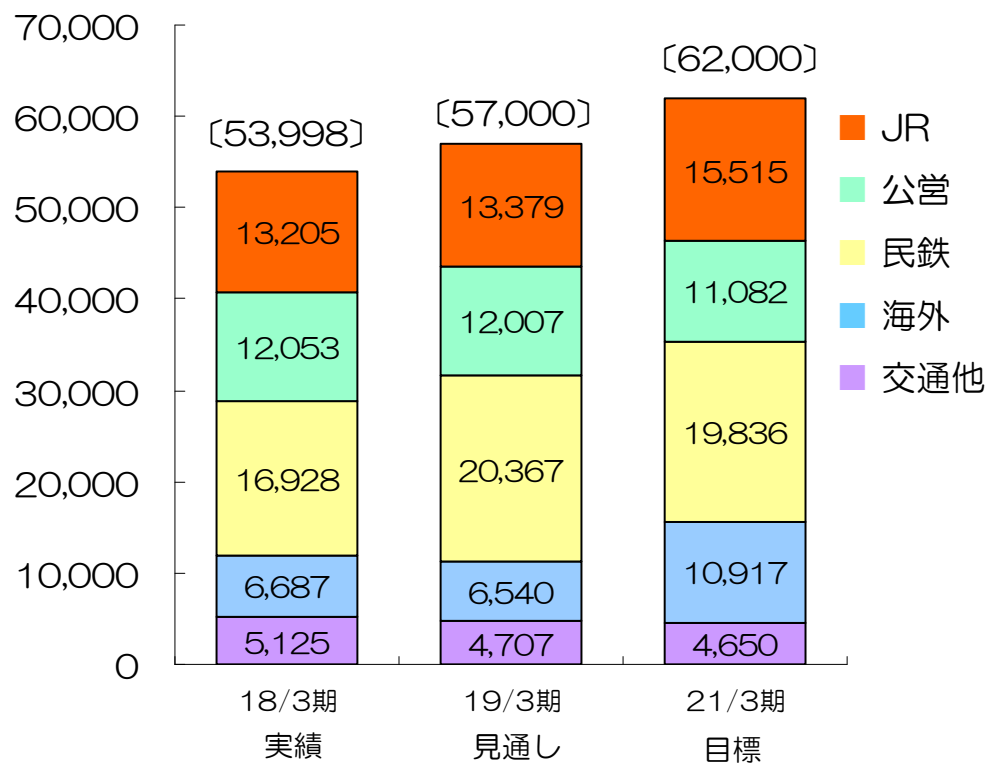


# 売上内訳

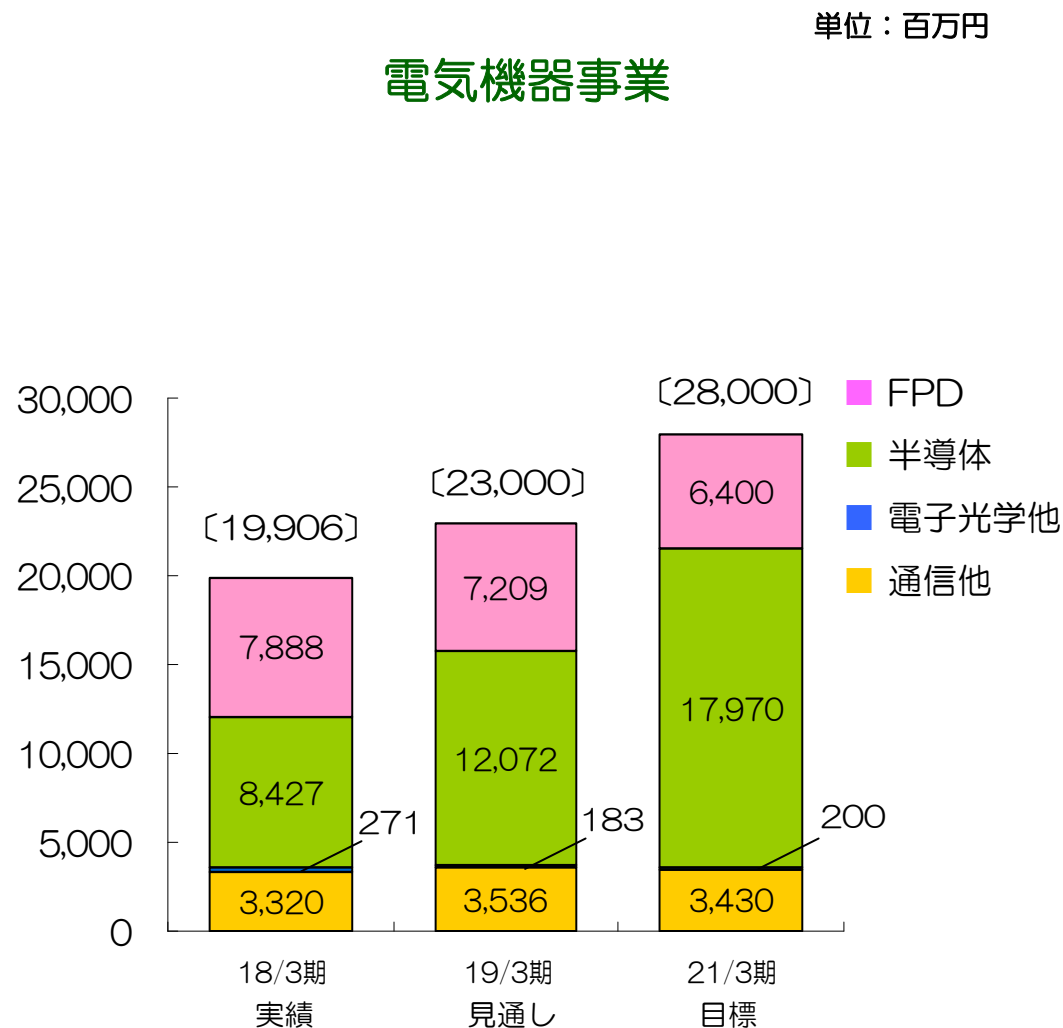


## 売上内訳

### 信号システム事業



### 電気機器事業



## 海外売上高目標値（連結）

2018年3月期実績

海外売上高：201億円  
(売上比率27.3%)

信号システム事業 66億円  
電気機器事業 134億円



2021年3月期目標

海外売上高：309億円  
(売上比率34.4%)

信号システム事業 109億円  
電気機器事業 200億円

## 海外事業展開のポイント

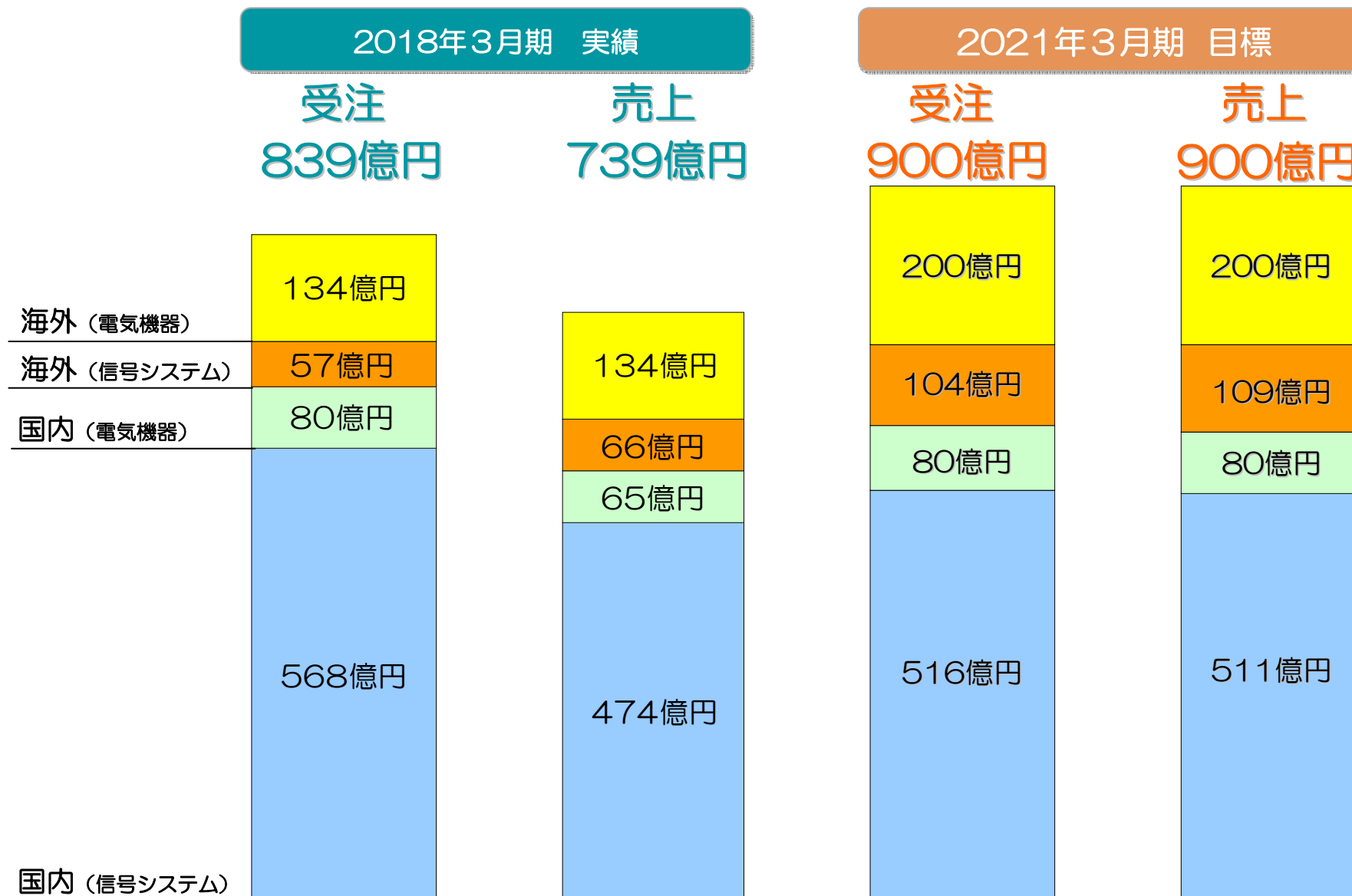
### 信号システム事業

- CBT C・統合型列車制御システム製品・単品製品の拡販
- 現地生産、現地調達体制の確立
- 技術供与の拡大
- 道路交通信号の海外展開
- グローバル電子連動

### 電気機器事業

- 海外拠点の活用によるシェア拡大(拡販)
- 製品ラインナップの充実
- 新機能・新アイテムの高付加価値製品開発
- 海外生産・調達・品質保証体制の確立
- グローバル化に対応した人財育成

# 受注・売上高構成





## 注意事項

1. 本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。  
従いまして、その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際の業績は記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社により何らかの行動を勧誘するものではありません。